



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROBOTO

2026年(令和8年)7月25日号 No.2030

目次

■ ロシア戦時経済の語り方	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2026年8月号のご案内	13
■ 統計速報	14
2026年1～5月のロシアの貿易／14	
■ キーパーソン	12
ウクライナで新首相・新内閣発足／15	
モルドバで新首相・新内閣発足／16	
■ エトセトラ	17
カザフスタン企業による連続プレゼンテーション第4回のご案内／17	
■ トピックス	17
日本旅行、ウズベキスタン2大学と人材育成協定締結／17	
EUサイバー・軍需産業分野で対ロ制裁強化／17	
ウズベキスタン、タシケント国際金融センターを創設／17	
EU、第21弾対ロ制裁パッケージを承認／18	

ロシア戦時経済の語り方

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター
教授 服部 倫卓

はじめに

6月26日にROTOBO月例報告会「ロシアを読み解く：制裁下で変貌する経済の実像」が開催され、筆者はこの席で「ロシア戦時経済の語り方」と題する報告をさせていただいた。本稿は、基本的にその時の報告内容をベースにレポートにまとめたものだが、ロシア経済をめぐる情勢は日々刻々と動いており、わずか1カ月前の情報ですら賞味期限が怪しくなっている。そこで、本稿では6月26日の報告内容を厳密に再現するのではなく、可能な限り情報をアップデートして構成することにした。

今回の月例報告会は節目の第100回であり、ROTOBO創立60周年記念事業の第1弾でもあった。思い起こせば、筆者がまだROTOBOに在籍していた2014年にウクライナ政変とクリミア危機が発生し、「このような緊迫した情勢下では会員の皆様に機動的かつこまめに情報発信することが求められている」と感じ、発案したのが月例報告会だった。その企画が100回目を迎え、筆者自身は4年前に活動の場を大学に移したにもかかわらず、今回このような発表の機会をいただいたことには、深い感慨を禁じ得ない。と同時に、2014年に発生した危機が、ついにはロシアとウクライナの全面戦争に至ってしまい、今日のような破局的事態を招いていることには、改めて痛恨の念を感じる。